

評定の観点

2014.7

コミュニケーション力			評価のレベル
理解	聞く力:	相手の質問(意図)を聞き取っているか	◎: 言い換え不要ですぐわかった ○: 少し言い換えて (or 最初から単純な質問で) わかった。答えるのに時間がかかった or 確認してから答えた △: かなり言い換えて (or 最初からかなり単純な質問で) わかった ×: わからなかった
	答える力:	相手の質問に答えているか	◎: 情報が十分で聞き返し不要+問題なくわかった ●: 少し聞き返したり推測したりして+大体わかった ▲: かなり聞き返して+わかりにくい又は不十分 ×: 答えられないまたは意味不明(含む筆談中文)
産出	談話力:	まとまった内容[★] (一段落以上)を相手に伝えられているか	★のレベル A: 類推不要 B: 少し類推すれば理解できる C: かなり類推すれば、何とか理解できる D: 理解できない
	やりとり	協働してやりとりを続ける力:	<p>答えにプラスαを加え、やりとりを積極的に進めているか</p> <p>・コミュニケーションストラテジー、相槌、間、共感を示す等おしゃべりの潤滑油を使っているか ・相手によって言葉遣いや話題を配慮できる ・相手の反応を見ながら話せる</p> <p>αの数で示す 但し、 ・何を言っているかわからないもの/話題に無関係なものは- ・内容があり、長さもあり、わかりやすいものは+</p> <p>2: できている 1: 少しできている 0: どちらとも言えない -1: できていない</p> <p>※この評価については、現在検討中</p>

フィードバックの観点とその例

フィードバックの7つの観点	フィードバック項目例
a 相手の質問を聞き取れているか(聞き返して聞き取れることを含む)	聞き取れる文体(敬語表現の理解など) / 疑問詞の取り違え / (わからないときに質問を確認しているか) 等
b 聞かれたことに、必要かつ十分な回答ができているか (言い換えたりして伝えられることを含む)	質問と回答のずれ / 情報不足、過多 / 語彙表現の間違い、不適切な使用 / 時制 / 主語のわかりにくさ / 意味をわからなくする文法の間違い 等
c まとまった話をした時に、(時には相手の助けも借りつつ)相手にわかるように話せているか	文の接続 / 話の順番・一貫性 / 指示詞の使い方 / 会話引用のわかりにくさ / 誤解を招く聞きづらい口癖等
d 音声上の問題はないか: 発音、イントネーション、話し方(声の大きさ、強弱等)	特殊音 / アクセント・イントネーション / 早口 / 声の大きさ / 語気の強さ 等
e 回答に+αを付けるなどして、やりとりをつなげようとしているか	プラスαの有無・適切さ / やりとりへの積極的な姿勢 等
f かみ合ったスムーズなやり取りができているか(自然な反応、行き詰まりへの対処 等)	意図の伝わり具合の確認 / 質問が聞き取れた意思表示 / 間の取り方 / 沈黙 / 相槌 / 相手への質問・反応 / 話題の変え方 / 前置き / ターンの独占 等
g 相手や場面等によって、言葉遣い(含む方言)・話題等に配慮できているか	言語レパートリー(書き言葉、友達しゃべり等) / 待遇表現 / 背景知識への共有度への配慮 / 口癖 等

